

第1号様式

実務

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会長 殿

下

住 所

(TEL - - -)

氏 名

印

実務者研修受講資金貸付申請書

次のとおり介護福祉士実務者研修受講資金の貸付を受けたいので、山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程の規定により申請します。

貸付希望 金額		円				
		借入内訳	・授業料	円	・	円
			・実習費・教材費等の納付金	円	・	円
			・	円	・	円
			・	円	・	円
			・	円	・	円
	円	・	円			
実務者養成施設等						
連帯保証人	名 称					
	所 在 地	(TEL - - -)				
	コース・学科		養成区分	昼間	・ 夜間	・ 通信
	修学期間	年 月	～	令和 年 月		
連帯保証人						
連帯保証人	氏 名					
	住 所	(TEL - - -)				
	親権者又は後見人の別					
	職 業					

注 次の書類を添付すること。

- 1 在学する実務者養成施設等長の推薦書(第2号様式)
- 2 身上書(第3号様式)
- 3 連帯保証人に関する調査書(第4号様式)
- 4 世帯全員の住民票の写し
- 5 申請者の生計支持者の所得を証明する書類
- 6 連帯保証人の所得を証明する書類
- 7 指定業務従事証明書
- 8 介護福祉士実務者研修受講資金の使途が確認できる書類(見積書、領収書等)
- 9 その他会長が必要と認める書類

推 薦 書

氏 名

コース・学科

上記の者は、勉学の意欲がおう盛で心身ともに健全であり、介護福祉士実務者研修受講資金の貸付を受けることがふさわしい者として推薦します。

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会長 殿

実務者養成施設等の名称

実務者養成施設等の長の氏名

印

身 上 書

氏名					
生年月日	年 月 日 (歳)				
本籍					
住所	(TEL — —) (携帯電話 — —)				
メールアドレス					
申請者の履歴	学歴		職歴		
	年 月	高校卒	年 月	会社名	
	年 月		年 月	会社名	
住居様	自家	借家	下宿	アパート	その他
家族の居住地	(TEL — —)				
家族の状況	続柄	氏名	年齢	職業	年間所得額

上記のとおりです。

令和 年 月 日

氏名

印

連帶保証人に関する調書

氏名		生年月日	
住所	〒		
電話番号			
申請者との関係			
職業		年収	

申請者が介護福祉士実務者研修受講資金の貸付けを受ける場合は、連帶して債務を負担します。

令和 年 月 日

連帶保証人（自署）住所

氏名

印

受講資金貸付契約書

第1条 甲は、乙に対し次のとおり介護福祉士実務者研修受講資金（以下「受講資金」という。）を貸付するものとする。

(1) 貸付金額 円

(2) 貸付日 一括して、甲が指定する日。

ただし、特別の理由があるときはこの限りではない。

第2条 乙は、山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程（以下「規程」という。）第11条第1項の規定により、受講資金返還明細書を提出したときは、甲の指示するところにより受講資金の返還債務を履行するものとする。

第3条 甲は、乙が不正に受講資金の貸付を受けたときは、当該不正に貸付を受けた受講資金に相当する額を返還させ、又はこの契約を解除することができる。

2 前項の規定によりこの契約が解除されたときは、乙は、甲の指示するところにより既に貸付を受けた受講資金を返還しなければならない。

第4条 乙は、連帯保証人が死亡し、若しくは破産手続き開始の決定を受けたとき、又は連帯保証人として適当でない事由が生じたときは、直ちにその旨を甲に届け出たうえで、甲の承認を得て新たな連帯保証人を立てなければならない。

第5条 前各条に定めるもののほか、乙は、山梨県介護福祉士修学資金等貸付事業実施要綱の定めるところにより、その義務を誠実に履行するものとする。

第6条 丙は、乙の上記債務について、連帯保証人として、債務履行の責めを負うものとする。

第7条 この契約、条例及び規則に定めのない事項並びにこの契約に疑義が生じた事項は、甲の指示するところにより解決するものとする。

この契約を証するため、本書3通を作成し、甲、乙、丙が記名押印のうえ、甲乙丙各1通を保有する。

令和　　年　　月　　日

貸主甲

山梨県社会福祉協議会会長

印

借　　主　　乙　　住　　所

氏　　名

印

連帯保証人丙　　住　　所

氏　　名

印

取　入
印　紙

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会长 殿

〒

住 所

(TEL — — —)

氏 名 印

受 領 書

次のとおり介護福祉士実務者研修受講資金を受領しました。

金額	円
----	---

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会长 殿

借 主

住 所

氏 名

印

連帯保証人

住 所

氏 名

印

受 講 資 金 借 用 証 書

次のとおり介護福祉士実務者研修受講資金を借用しました。

金額	円
貸付期間	令和 年 月 から 令和 年 月 まで

*貸付期間については、在学する期間を記入すること。

取 入

印 紙

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会长 殿

〒

住 所

(TEL — — —)

氏 名

印

受講資金返還債務免除申請書

次のとおり介護福祉士実務者研修受講資金の返還の債務の免除を受けたいので、山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程第10条第1項の規定により申請します。

免除申請額	円
返還未済額	円
申請の理由	

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会长 殿

〒

住 所

(TEL — — —)

氏 名

印

受 講 資 金 返 還 明 細 書

山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程第11条第1項の規定により、次のとおり受講資金を返還します。

貸 付 期 間	令 和 年 月 か ら	令 和 年 月 ま で
借 用 金 額		円
返 還 免 除 額		円
要 返 還 額		円
返還事由発生年月日	令 和 年 月 日	
返 還 事 由		
返 還 方 法	一 括	月 賦
	円	毎月 円 総額 円

*貸付期間については、在学する期間を記入すること。

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会长 殿

〒

住 所

(TEL — — —)

氏 名

印

受講資金返還方法変更申請書

次のとおり介護福祉士実務者研修受講資金の返還方法を変更したいので、山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程第11条第2項の規定により申請します。

借用金額	円						
返還免除額	円						
返還済額	円						
返還未済額	円						
旧返還方法	期間	令和 年 月 から 令和 年 月 まで					
	一括			月賦			
	円			毎月 円 総額 円			
新返還方法	期間	令和 年 月 から 令和 年 月 まで					
	一括			月賦			
	円			毎月 円 総額 円			
受講資金返還明細書 提出年月日	令和 年 月 日						

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会长 殿

〒

住 所

(TEL — — —)

氏 名

印

受講資金返還猶予申請書

次のとおり介護福祉士実務者研修受講資金の返還の債務の履行の猶予を受けたいので、
山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程第12条第1項の規定によ
り申請します。

返還未済額	円					
申請の理由						
猶予期間	令和 年 月から	令和 年 月まで				

* 猶予申請書の提出に当たっては、実務者養成施設の卒業と併せ、実務経験年数が3年以上
であること。

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会長 殿

〒

住 所

(TEL — — —)

氏 名

印

(本人・保証人) 氏名住所変更届

次のとおり(本人・保証人)の氏名又は住所に変更があったので、山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程第13条第1項第1号の規定により届け出ます。

借 用 金 額	円
貸 付 期 間	令和 年 月 から 令和 年 月 まで
変更前の(本人・保証人)の 氏 名 又 は 住 所	(TEL — — —)
変更後の(本人・保証人)の 氏 名 又 は 住 所	(TEL — — —)
変 更 年 月 日	令和 年 月 日

注 () のうち、該当する方に○印を付けてください。

* 貸付期間については、在学する期間を記入すること。

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会长 殿

〒

住 所

(TEL — — —)

氏 名

印

(休学・停学・復学・退学) 届

次のとおり(休学・停学・復学・退学)したので、山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程第13条第1項第2号の規定により届け出ます。

借用金額	円
貸付期間	令和 年 月から 令和 年 月まで
養成施設等の名称・所在地	
(休学・停学・復学・退学)年月日	令和 年 月 日
(休学・停学・復学・退学)の理由	

注 () のうち、該当する方に○印を付けてください。

* 貸付期間については、在学する期間を記入すること。

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会长 殿

〒

住 所

(TEL — — —)

氏 名

印

卒 業 届

次のとおり卒業したので、山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程第13条第1項第3号の規定により届け出ます。

借 用 金 額	円
貸 付 期 間	令和 年 月 から 令和 年 月 まで
卒業した養成施設等の 名 称 ・ 所 在 地	
卒 業 年 月 日	令和 年 月 日

* 貸付期間については、在学する期間を記入すること。

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会长 殿

〒

住 所

(TEL — — —)

氏 名

印

貸 付 辞 退 届

次のとおり貸付の辞退をしたいので、山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講
資金貸付規程第13条第1項第4号の規定により届け出ます。

借 用 金 額	円
貸 付 期 間	令和 年 月 から 令和 年 月 まで
貸付を辞退する月	令和 年 月 から
貸付を辞退する理由	

* 貸付期間については、在学する期間を記入すること。

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会长 殿

〒

住 所

(TEL — — —)

氏 名

印

指定業務に（従事した・従事しなくなった）届

次のとおり介護福祉士等の業務に（従事した・従事しなくなった）ので、山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程第13条第1項第5号の規定により届け出ます。

借 用 金 額	円
貸 付 期 間	令和 年 月 から 令和 年 月 まで
(従事した・従事しなくなった) 施設の名称・所在地	
(従事した・従事しなくなった) 職 種	
従 事 し た 年 月 日	令和 年 月 日
従事しなくなった年月日	令和 年 月 日

注 () のうち、該当する方に○印を付けてください。

* 貸付期間については、在学する期間を記入すること。

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会长 殿

〒

住 所

(TEL — — —)

氏 名

印

指定業務に従事する施設等の変更届

次のとおり介護福祉士等の業務に従事する施設等を変更したので、山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程第13条第1項第6号の規定により届け出ます。

借用金額		円
貸付期間		令和 年 月から 令和 年 月まで
変更前	施設の名称・所在地	
	職種	
変更後	施設の名称・所在地	
	職種	
変更年月日		令和 年 月 日

* 貸付期間については、在学する期間を記入すること。

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会长 殿

〒

住 所

(TEL — — —)

氏 名

印

死 亡 届

次のとおり死亡したので、山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程第13条第2項の規定により届け出ます。

借 用 金 額	円
貸 付 期 間	令和 年 月 から 令和 年 月 まで
死 亡 年 月 日	令和 年 月 から
死 亡 の 原 因	

* 貸付期間については、在学する期間を記入すること。

誓 約 書

私は、山梨県社会福祉協議会介護福祉士実務者研修受講資金貸付規程等を遵守し、令和 年度介護福祉士国家試験を受験いたします。

合格に向けて修学に励み、成業の上は山梨県内において介護福祉士として指定業務に従事することをここに誓約します。

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会長 芦澤敏久 殿

〒
(住所)

(氏名)

印

指定業務従事証明書

〒
住 所
氏 名

上記の者は、 年 月 日から 年 月 日（現在 まで）
当施設において、職員として従事して（いる いた）ことを証明する。

○ 指定業務 別表（ 1 2 ） — _____

業 務 内 容	・ ・
------------------	--------

休 職 期 間 等	(出産 育児 介護 その他) ・ 期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 () ・ 期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 () ・ 期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 ()
-----------------------	--

令和 年 月 日

(勤 務 先)

〒
住所

電話 ()

施設の名称

代表者の氏名

印

(別紙1)

令和 年 月 日

山梨県社会福祉協議会会長 殿

〒
住 所
(TEL - - - -)

氏 名 印

受 講 資 金 振 込 口 座 届

令和 年 月 日付けで貸付決定のあった介護福祉士実務者研修受講資金
については、次の口座に振り込みをお願いします。

金融機関名			
金融機関コード			
支店名			
支店コード			
預金種目	1 普通預金	2 当座預金	口座番号
口座 名義人	郵便番号		
	住 所		
	フリガナ 氏 名		
電話番号			

* 預金種目欄は、該当する番号に○印を記入すること。